

新年あけましておめでとうございます。

本年も上毛町とタイをつなぐ国際交流が、子どもたちの成長と学びにつながる一年となりますよう、心より願っております。

CIR(国際交流員) プーンシリ・ナタオーン

上毛町 チュラ小 「タイ米餅」プロジェクト

つながりから生まれる挑戦

令和6年10月に来日したチュラローンコーン大学附属小学校児童の皆さんが西友枝体験交流センター「ゆいきらら」にて、餅つきを見学・体験しました。蒸したもち米を臼と杵でつく作業を行い、出来上がった餅の柔らかさに触ることは児童だけでなく先生方にとっても新鮮で心に残る体験となりました。

「タイのもち米でも餅が作れるのでは?」という気づきから、タイ米を使った「タイ米餅プロジェクト」が誕生しました。

帰国後、タイ米の魅力を再発見し、地域農産物の価値を高めたいという思いから、来日した児童3名(ドン君・トロー君・オノちゃん)が先生のアドバイスを受けながら、タイ産もち米3種(ゴーコー6、キアオグー、サンバトーン)と日本のもち米の違いを科学的に比較しました。粘りや食感、蒸し上がりの状態などを丁寧に調べることは、地元食材の新しい可能性に挑戦する取組みとなりました。

研究成果を国際科学イベントで発表!

この研究成果は、令和7年9月27日~10月3日にアラブ首長国連邦アブダビで開催された国際科学イベント「Milset Expo-Sciences International(ESI) 2025」で発表されました。

ESIは13~25歳の若者が持続可能な社会づくりに向けた科学技術のアイデアを紹介する世界的なイベントで、今年はアブダビ教育・技術・職業訓練センター(ACTVET)が主催しました。



世界の舞台で、上毛町の訪日事業から生まれた学びと、上毛町とチュラ小との温かいつながりを紹介できることは、子どもたちにとって大きな励みとなりました。今年も、両国の子どもたちの新しい挑戦と国際交流が、さらに実り豊かなものとなることを期待しています。



こうげまち ふるさと納税

返礼品紹介

あまおう

いちご農園「らんらんふあーむ」で栽培されるあまおうです。

苗から実がなるまでいちごに寄り添いながら丹精込めて育てています。真っ赤に成熟してから収穫しているため、食べた瞬間に爽やかな甘みが口いっぱいに広がり、ひとつ食べたら、もうひとつ食べたくなる美味しいいちごです。



返礼品協力事業者募集

上毛町にふるさと納税をしていただいた方に対し、地域内で生産・製造された品を返礼品としてお贈りしています。町では返礼品を提供していただける協力事業者を随時募集しています。町内にお住まいの方、店舗や事業所がある方であれば、個人・法人を問いません。ご興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問 税務課 ふるさと活性係 ☎ 72-3879(内線133)

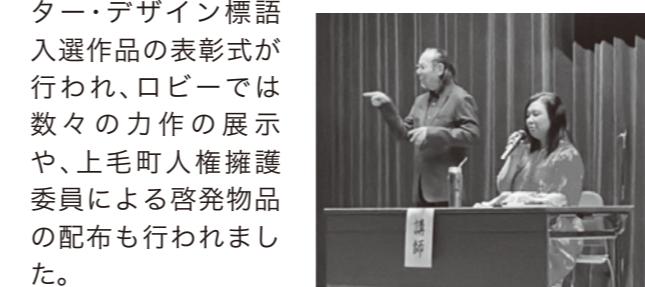
令和7年度上毛町 人権講演会開催

11月30日(日)、人権週間の取組として、げんきの杜で上毛町人権講演会が開催されました。

講師に、全盲の音楽家 前川 裕美 氏をお迎えし、「夢みる力を信じて~ともに生きる未来へ~」と題して講演をいただきました。

「網膜色素変性症」という病気によって視力を失っていましたことや、周囲の反対を乗り越えてアメリカへ留学した経験、結婚し母になったことなど、素敵な歌とピアノ演奏を交えながらご自身の人生について明るい語り口で伝えてくださいました。

また、講演会に先立ち、小中学生による人権ポスター・デザイン標語入選作品の表彰式が行われ、ロビーでは数々の力作の展示や、上毛町人権擁護委員による啓発物品の配布も行われました。



第34回九州地区選抜 空手道選手権大会で入賞!

11月30日(日)、直方市で「第34回九州地区選抜空手道選手権大会」が開催され、日本空手協会豊筑支部新吉富教室から出場した選手が入賞しました。成績は次のとおりです。

【優勝】小学6年生組手の部 女子
原田 莉以(南吉富小6年生)

【準優勝】中学3年生組手の部 男子
藤原 光陸(上毛中学校3年生)



▲写真手前左が原田選手、右が藤原選手